

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 株式会社タカギセイコー 上場取引所 東
 コード番号 4242 URL <http://www.takagi-seiko.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八十島 清吉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 石黒 勝己 (TEL) 0766-24-5522
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,757	△5.0	△42	—	△122	—	△136	—
26年3月期第1四半期	12,370	△8.1	△62	—	△24	—	△99	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △186百万円(—%) 26年3月期第1四半期 402百万円(361.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△10.16	—
26年3月期第1四半期	△7.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	43,633	10,672	19.1
26年3月期	44,631	10,767	18.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 8,342百万円 26年3月期 8,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	1.00	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,890	△7.1	150	—	△90	—	△240	—	△17.83
通期	49,170	△6.4	1,120	72.4	720	74.7	260	28.7	19.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 武漢塔佳奇汽車部件有限公司 除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	13,659,860株	26年3月期	13,659,860株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	197,964株	26年3月期	197,964株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	13,461,896株	26年3月期1Q	13,461,637株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う個人消費の落ち込みの影響はあったものの、政府の経済対策や金融政策により、全体として緩やかな景気回復基調で推移しました。しかしながら、欧州財政問題や、中国の経済成長の鈍化が鮮明になりつつある等、先行き不透明な状況も依然として続いております。

当業界におきましても、原油、ナフサ価格の上昇傾向等もあり、楽観できない事業環境となりました。

一方、海外市場においては、中国経済の減速やタイの政情不安、また欧州・米国の状況次第では新興国における景気減退の懸念もあり、今後の状況を注視する必要があります。このような状況の中、開発面においては、車両分野における次世代自動車および電気自動車向けの電装系機能部品や、複合材料を用いた高機能な構造部材の商品化に向けた研究開発を進めており、また、タンク事業では、選択触媒還元システム対応の薬液タンクの商品化に成功し、建設機械の分野に採用となる等、新製品・新技術・新材料の研究とともに顧客ニーズに対応するための既存製品の改良・改善及び応用技術開発を実施する等、開発先行型企業であり続けるための活動を継続して実施しております。また、営業面においては、新技術及びグローバルネットワークを活かした積極的な提案営業を展開するとともに、製造面においても品質の向上、コストの低減及び短納期対応に全力で取り組むとともに最適地生産体制を構築する等、開発、営業及び製造が一体となり、お客様満足度の向上に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,757,791千円（前年同四半期比5.0%減）となりました。損益面では、海外における材料費・労務費の増加等により営業損失は42,723千円（前年同四半期は営業損失で62,955千円）、経常損失は122,742千円（前年同四半期は経常損失で24,670千円）、税金等調整前四半期純損失は123,510千円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失で25,201千円）、四半期純損失は136,766千円（前年同四半期は四半期純損失で99,884千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

成形品事業、特に車両分野での受注数量の増加により、売上高は6,992,481千円（前年同四半期比3.2%増）となったものの、通信機器分野での受注数量の減少等により、営業損失は175,753千円（前年同四半期は営業損失で45,094千円）となりました。

② 中国

OA分野での受注数量の減少により、売上高は2,386,485千円（前年同四半期比25.7%減）となったものの、車両分野での好調な受注環境により営業利益は69,039千円（前年同四半期は営業損失で25,394千円）となりました。

③ 東南アジア

インドネシア及びタイにおいては、受注数量はほぼ横ばいで推移した結果、売上高は2,378,824千円（前年同四半期比0.2%減）となったものの、材料費・労務費の増加等により営業利益は53,647千円（前年同四半期比24.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、21,721,017千円となり、前連結会計年度末と比べ662,290千円減少しました。これは、受取手形及び売掛金の減少(980,611千円減)が主な要因であります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、21,912,532千円となり、前連結会計年度末と比べ335,401千円減少しました。これは、機械装置及び運搬具の減少(288,806千円減)、建物及び構築物の減少(68,858千円減)が主な要因であります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、21,405,418千円となり、前連結会計年度末と比べ627,215千円減少しました。これは、支払手形及び買掛金の減少(959,886千円減)が主な要因であります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、11,555,562千円となり、前連結会計年度末と比べ275,276千円減少しました。これは、その他の固定負債に含まれるリース債務の減少(196,450千円減)が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,672,569千円となり、前連結会計年度末と比べ、95,200千円減少しました。これは、為替換算調整勘定の減少(89,574千円減)が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想につきましては、平成26年5月15日発表の業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、武漢塔佳奇汽車部件有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法等によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が162,703千円減少し、利益剰余金が105,140千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,150千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,228,817	3,186,380
受取手形及び売掛金	10,226,410	9,245,799
商品	184,632	338,566
製品	919,238	741,621
原材料	1,209,724	1,128,831
仕掛品	2,866,389	3,318,681
貯蔵品	254,507	248,442
繰延税金資産	164,540	182,175
未収入金	2,108,203	1,645,966
その他	1,223,557	1,687,110
貸倒引当金	△2,716	△2,558
流動資産合計	22,383,307	21,721,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,816,546	4,747,687
機械装置及び運搬具(純額)	3,946,160	3,657,354
土地	6,306,016	6,349,484
建設仮勘定	406,735	608,366
その他(純額)	2,931,317	2,715,042
有形固定資産合計	18,406,777	18,077,934
無形固定資産		
ソフトウェア	121,855	120,648
のれん	123,238	117,001
その他	155,825	149,745
無形固定資産合計	400,919	387,395
投資その他の資産		
投資有価証券	1,119,036	1,161,817
出資金	183,909	174,004
繰延税金資産	1,529,410	1,484,152
その他	729,953	749,299
貸倒引当金	△122,071	△122,071
投資その他の資産合計	3,440,237	3,447,201
固定資産合計	22,247,934	21,912,532
資産合計	44,631,241	43,633,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,053,472	9,093,586
短期借入金	4,404,297	4,477,066
1年内返済予定の長期借入金	3,926,137	3,985,316
未払法人税等	152,449	81,275
賞与引当金	209,440	56,152
その他	3,286,835	3,712,020
流動負債合計	22,032,633	21,405,418
固定負債		
長期借入金	6,261,860	6,357,098
役員退職慰労引当金	217,025	215,725
退職給付に係る負債	4,534,729	4,366,660
その他	817,221	616,077
固定負債合計	11,830,838	11,555,562
負債合計	33,863,471	32,960,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,089,805	2,089,805
資本剰余金	1,776,237	1,776,237
利益剰余金	4,543,491	4,498,403
自己株式	△48,764	△48,764
株主資本合計	8,360,769	8,315,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,553	△19,975
繰延ヘッジ損益	△5,048	△700
為替換算調整勘定	264,376	174,802
退職給付に係る調整累計額	△134,501	△127,786
その他の包括利益累計額合計	78,273	26,339
新株予約権	12,936	12,936
少数株主持分	2,315,791	2,317,612
純資産合計	10,767,769	10,672,569
負債純資産合計	44,631,241	43,633,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,370,315	11,757,791
売上原価	11,095,638	10,503,570
売上総利益	1,274,676	1,254,220
販売費及び一般管理費	1,337,632	1,296,943
営業損失(△)	△62,955	△42,723
営業外収益		
受取利息	3,576	2,320
受取配当金	14,584	12,100
為替差益	98,732	7,717
作業屑売却収入	10,104	13,616
助成金収入	3,303	—
その他	25,203	17,230
営業外収益合計	155,505	52,985
営業外費用		
支払利息	99,500	115,820
その他	17,719	17,183
営業外費用合計	117,219	133,004
経常損失(△)	△24,670	△122,742
特別利益		
固定資産売却益	3,247	7,128
投資有価証券売却益	2,002	—
特別利益合計	5,249	7,128
特別損失		
固定資産売却損	904	5,431
固定資産除却損	4,877	2,465
特別損失合計	5,781	7,897
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,201	△123,510
法人税等	60,309	△8,267
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,511	△115,243
少数株主利益	14,372	21,523
四半期純損失(△)	△99,884	△136,766

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,511	△115,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,428	26,608
繰延ヘッジ損益	△1,359	4,347
為替換算調整勘定	429,510	△99,454
退職給付に係る調整額	—	6,864
持分法適用会社に対する持分相当額	15,622	△10,000
その他の包括利益合計	488,200	△71,635
包括利益	402,689	△186,878
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	200,524	△188,700
少数株主に係る包括利益	202,164	1,822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	6,776,275	3,210,063	2,383,976	12,370,315
セグメント間の内部売上高 又は振替高	415,508	87,543	708	503,761
計	7,191,783	3,297,607	2,384,685	12,874,076
セグメント利益又は損失 (損失は△)	△45,094	△25,394	71,064	575

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	575
セグメント間取引消去	△63,531
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△62,955

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	6,992,481	2,386,485	2,378,824	11,757,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151,447	125,521	464	277,432
計	7,143,928	2,512,006	2,379,288	12,035,223
セグメント利益又は損失 (損失は△)	△175,753	69,039	53,647	△53,066

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△53,066
セグメント間取引消去	10,343
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△42,723

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。